

## ■科目名

教職基礎論

## ■開設年度

2021

## ■区分

教職理解科目

## ■学科名

教育学

## ■分類

## ■単位数

2

## ■履修期

2期

## ■履修条件

## ■開講期

後

## ■担当教員

前田晶子・高谷哲也

## ■代表教員名及び連絡先等

高谷哲也

takatani@edu.kagoshima-u.ac.jp

## ■オフィスアワー

・代表教員の高谷のオフィスアワーは、以下の時間帯を基本として設定するが、研究室に在室の場合はその都度対応する。

・また、事前連絡をもらえれば、下記以外の曜日時間帯にも日程調整のうえ予定を確保して対応する。他の授業担当教員も同様に調整のうえ対応する。

・金曜日の5限終了後（18:00～19:30）

担当教員ごとの具体的なオフィスアワーについては初回授業時に指定する。

## ■講義の概要（目的・内容・方法）

本講義では、教職の意義及び教員の役割・職務内容についての基礎的な理解を図る。本講義を通して、教職の社会的役割と特徴に関する専門的な理解を深めるとともに、自身が身につけるべき資質や専門性についてのイメージを明確化していくことを目指す。また、自身の適性や将来の職業選択との関係から、「教職に就く」とは、どのような職業選択上の意味を持つことになることなのかを考えるとともに、自身のキャリアに対する関心・意識を高めていくことを目的とする。

そのため、以前は児童生徒として見てきた「学校」を、新たに教員や社会の視点から捉えるとともに、さらには教育学の専門的な視点から捉え直す機会とする。

なお、本講義は新型コロナウイルス感染症の影響から、原則としてZoomによるリアルタイム双方向型の遠隔実施にて実施することを予定している。

## ■授業の到達目標及びテーマ

- ・教職が果たしている社会的役割と資格・身分・サービス等の教員制度の基本について理解する
- ・教職の特徴と求められる専門性、資質能力について理解する
- ・学校教育をめぐる動向について把握するとともに、学校教育や教職のあり方について論考することのできる専門的見識と探究姿勢の基礎を獲得する

## ■授業計画

全回原則Zoomによるリアルタイム双方向型の遠隔授業の形態で実施する予定だが、必要に応じて対面での実施を行うことがある。その際は講義内もしくはmanaba上にて事前に連絡する。

第1回：オリエンテーション：自身の抱く教職観と向き合う

第2回：理想の教師像と教職の可能性

第3回：教職の役割と教職観の変遷

第4回：学校教育をめぐる動向と教職の現状

第5回：教員の職務の特徴とその変化

第6回：教員に求められる資質能力

第7回：公教育の担い手としての教員

第8回：教員の資格と身分保障

第9回：学校組織の特徴と学校文化

第10回：教員に求められる倫理観とサービス規程

第11回：学校をこえてつながる協働する教師

第12回：教師の専門性と教師の成長

第13回：教育実践を規定する教師の「観」

第14回：多様化する価値観と教職

第15回：教職の魅力と教職に就くということ

上記講義スケジュールは受講者の理解度、講義内の演習の進捗状況等に応じて、適宜変更する可能性がある。

\*本講義は期末試験は実施しない。成績の評価基準に示した評価を行う。

#### ■授業外学習（予習・復習）

- ・単元別小課題ならびにレポート課題について、授業内での相互評価に向けた予習を課す（2時間程度）
- ・毎授業の演習内容について考えをまとめる課題を課す（2時間程度）

#### ■受講要件

#### ■成績の評価基準

- ・授業中に取り組んだ演習課題、ワークシート課題の内容評価（40%）
- ・最終レポート課題（60%）

#### ■教科書・参考書

- ・教科書は指定しない。授業中に適宜資料を配付する。
- ・参考書は以下の通り  
高谷哲也（2011）『教師の仕事と求められる力量—新たな時代への対応と教師研究の知見から—』あいり出版。
- ・曾余田浩史・岡東壽隆（2011）『補訂版 新・ティーチング・プロフェッショナル—教師を目指す人のための教職入門—』明治図書出版。
- ・佐藤晴雄（2015）『教職概論 [第4次改訂版]』学陽書房。

#### ■教師としての資質能力に関するチェック項目

1. 教職の意義（使命感・倫理観等）に関する理解  
【A教職の理解】教職の意義と役割を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を持っている
2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解  
【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている
7. コミュニケーション力  
【B連携協働力、自己改善力の育成】他者とのかかわりや適切なコミュニケーションの在り方について基本的な理解を深め、自らそれを実践することができる

#### アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；  
プレゼンテーション；  
振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

#### アクティブ・ラーニング（その他）

#### アクティブ・ラーニング(授業回数)

15回中15回

#### ■実務経験のある教員による実践的授業

#### ■その他

- ・本科目はクラス1とクラス2に受講者をランダムで割り振り、2つのクラスにて実施する。自身がどちらのクラスの配属となっているかを確認のうえ参加すること。
- ・本科目の授業形態は、新型コロナウイルス感染症の影響や、その他の理由により変更する場合がある。